

人間国宝認定10年を迎えて
～ 認定後の日々を写真で紹介～



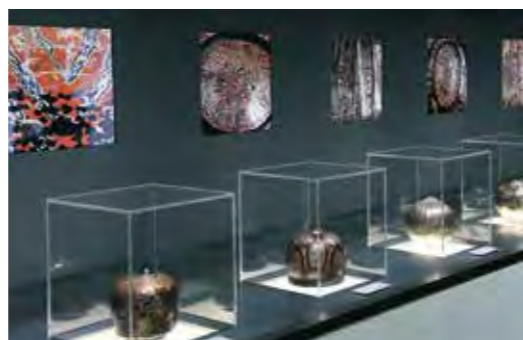
地域の保育園に招待された際の1枚。「今までになかった経験」と、子どもたちと触れ合ったことを楽しそうに振り返ります。



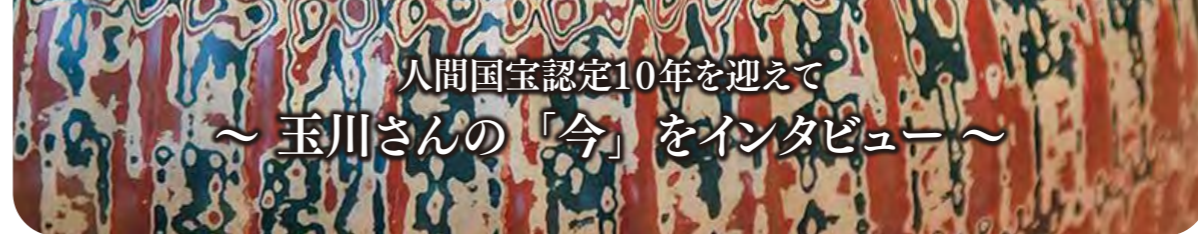
認定後、何よりも印象深かったと話す文化庁の「工芸技術記録映画」の撮影中の1コマ。写真中央が作業を行う玉川さん。



玉川さんの工房を訪れた若手職人たちに技術を教える様子。職人たちは、見逃すまいと食い入るように見つめています。



昨年リニューアルされた燕市産業史料館では、玉川さんのコーナーもグレードアップ。代表作がまとめて展示されています。



人間国宝認定10年を迎えて
～ 玉川さんの「今」をインタビュー～

することは何も変わらない
10年前もこれからも

振り返ると、認定をいただいたこれらの10年間は、長いようで、あっという間の日々だったように思えます。その中でもやはり印象的だったのは、文化庁からの依頼で撮った工芸技術記録映画です。

文書や写真ではなかなか伝えきれない制作工程を映像に記録し、後世に技術を残せたことは、鍛金家として大きな喜びであると同時に、映画撮影とはこんなに大変なものなのかと壮絶ながら楽しい日々でもありました。

認定を受けて以降、初めて経験したこともあり。例えば、地域の保育園に招待されたこと。今まであまり縁がなかったので、子どもたちとの交流はとても新鮮だった思い出があります。

ただ、周りの状況や環境が変わっても私がすることは10年前、さらにその前から何も変わりません。一日一日できることを続けるだけです。あと幾つ作品を残せるか。これからは変わらずに、できるところまでやるだけです。技術を習いに通ってくる若手職人にも「飽きずに続けること」を技術と一緒に伝えていきたいですね。

今回、作品展を開かせていただくことは何より「ありがたい」という言葉に尽きます。作品展を開くというのは大変なことですが、いつもの作品づくりとは作業が変わる、その分、大きなエネルギーが必要になってきます。そういった意味では緊張感を持ち、気を引き締めています。

今回の作品展では、以前に燕市産業史料館で行った銅器作品中心の作品展とは異なり、木目金作品を中心に歴代から新作に至るまで約80点を展示をします。木目金の作品を通して見てもらいたいのは、銅や銀などの合金である「色金」の持つ色彩の魅力です。木目金はその美しさを十分に表現できる技法です。

長年取り組んできた今もなお、完全には計算しきれない。同じ木目金ができることはありません。しかし、それもまた制作の楽しさのひとつだと考えています。鍛金家の醍醐味でもある、ひたすら何万回も叩き続ける「地金との格闘」により作り上げた作品をご覧いただくとありがたいです。

略歴



- 1942 (昭和 17)年 下田村庭月 (現三条市) にて誕生
- 1955 (昭和 30)年 燕市玉川家二男へ移籍
- 1959 (昭和 34)年 秋田市立工芸学校を卒業
玉川堂 (燕市) へ入社、家業に従事する
- 1963 (昭和 38)年 故関谷四郎 (重要無形文化財保持者) に師事
- 1965 (昭和 40)年 帰郷、玉川堂へ再入社。
常務、専務として父・兄と共に働く
- 1989 (平成元年) 新潟大学教育学部非常勤講師 (2001 年まで)
- 1996 (平成 8)年 玉川堂退社、制作活動に専念する
- 2002 (平成 14)年 紫綬褒章受章
- 2005 (平成 17)年 伝統文化ポラ賞「優秀賞」受賞
- 2010 (平成 22)年 重要無形文化財「鍛金」保持者認定 (人間国宝)
燕市名誉市民となる
- 2012 (平成 24)年 旭日小綬章受章
- 2015 (平成 27)年 工芸技術記録映画 (文化庁) 撮影

玉川 宣夫
重要無形文化財保持者
認定10周年記念作品展

10月1日(木) - 11月15日(日)

観覧料 大人400円、小・中・高生100円
(上記企画展会期中、市民は無料)

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日、祝日の翌日

燕市産業史料館

〒959-1263 新潟県燕市大曲 4330-1

☎ 0256-63-7666

【玉川宣夫 在館日】10月1日(木)・10日(土)・11月1日(日)・15日(日) 各日 午後1時～4時